

記入例

令和〇年〇月〇日

(あて先) 宝塚市長

所有者についてご記入ください。
連絡先は日中連絡が取れる電話番号を
ご記入ください。
<法人の場合>
法人の代表者印を押印してください。
<個人事業主の場合>
認印で結構です。

住 所 宝塚市東洋町1-1
連 絡 先 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
氏名(名称) 株式会社 △△
業 種 名 飲食業
代表者氏名 代表取締役 宝塚 太郎 (印)

地方税法附則第63条(※)に規定する新型コロナウイルス感染症等に係る中小事業者等の償却資産及び家屋に対する固定資産税及び都市計画税の課税標準の特記
※令和2年12月31日以前は附則第61条

<計算方法>

① 600,000/②1,420,000=0.42253…
→ 42% (小数点以下は切り捨て)

1 事業収入割合について

令和2年4月1日から同年6月30日 令和2年2月から10月までの連続する3月を記載			平成31年4月1日から同年6月30日 左の期間の前年同期を記載		
4月期	5月期	6月期	4月期	5月期	6月期
250,000円	200,000円	150,000円	450,000円	500,000円	470,000円
合計:	600,000円	・・・①	合計:	1,420,000円	・・・②
事業収入割合: 42% (① / ②) ※小数点以下切り捨て					

- 50%以下 (地方税法附則第63条第1項第1号に該当)
(=事業収入が前年同期比で50%以上減少している場合 軽減率: 全額)
 50%超70%以下 (地方税法附則第63条第1項第2号に該当)
(=事業収入が前年同期比で30%以上50%未満減少して

令和2年度の納税通知書に記載のある
通知書番号をご記入ください。

2 特例対象資産について

申告の有無	資産	納税通知書番号
○	償却資産	1234567-0
○	事業用家屋(別紙のとおり)	1234567-0

※1 申告する資産に○をつけてください

※2 償却資産については、毎年行われる申告をもって特例対象資産一覧を提出したこととなります。
(この申請書のほか、令和3年度の償却資産申告書の提出が必要です。)

3 誓約事項について

以下の（１）から（４）について、事実と相違ないことを誓約します。

- （１）「１ 事業収入割合について」に記載した事業収入割合の減少は、新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響によるものであること。
- （２）申請者は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第5項に規定する「性風俗関連特殊営業」を営んでいないこと。
- （３）（申請者が資本若しくは出資を有する法人である場合、）申請者は、資本金の額若しくは出資金の額が1億円以下であり、かつ、次に掲げる事由のいずれにも該当しないこと。
 - ① その発行済株式又は出資（その有する自己の株式又は出資を除く。②において同じ。）の総数又は総額の2分の1以上が同一の大規模法人（※）の所有に属している法人
 - ② その発行済株式又は出資の総数又は総額の3分の2以上が大規模法人の所有に属している法人※「大規模法人」とは租税特別措置法施行令第27条の4第12項に規定する大規模法人のことをいう。
- （４）（申請者が資本若しくは出資を有しない法人又は租税特別措置法第10条第7項第6号に規定する中小事業者である場合、）申請者は、常時使用する従業員の数が1,000人以下であること。

【認定経営革新等支援機関等確認欄】

上記1～3の申告内容について、記載どおりである旨確認しました。

住 所

名 称

代表者役職

代表者氏名

認定経営革新等支援機関等が記入する欄です。

所有者ご自身では記入しないでください。

認定経営革新等支援機関等については中小企業庁のホームページでご確認ください。

印

認定経営革新等支援機関等担当者名

認定経営革新等支援機関等電話番号

認定経営革新等支援機関等担当者メールアドレス

（備考）

1. 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
2. 本申請において、申告すべき事項について虚偽の申請をした者は、地方税法附則第63条第4項又は第5項の規定に基づき1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処される場合があることに留意すること。
3. 「連絡先」については、日中連絡がとれる電話番号等を記載すること。
4. 「氏名（名称）」については、個人事業主にあつてはその氏名を、法人にあつてはその名称を記載すること。
5. 「業種名」については、日本標準産業分類における中分類で記載すること。
6. 本特例の申請にあつては、事前に認定経営革新等支援機関等の確認を受けること。
7. 本特例の申請は令和3年2月1日（月）までに宝塚市に対して行うこと。

※当日消印有効（期限を過ぎた申請は受付できません）

(別紙) 特例対象資産一覧

家屋の所在		床面積	
所在	○町×丁目△番地□	134.60 m ²	うち事業用
家屋番号	△番地□		67.3 m ² 50%
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %
所在		m ²	うち事業用
家屋番号			m ² %

- ※1 前年度における課税明細書に記載の単位で記入すること。(前年度における課税明細書に記載のない家屋については、家屋番号の単位で記入すること。)
- ※2 事業専用割合が分かる資料(青色申告決算書等)を添付すること。
- ※3 認定支援機関等の確認を受けた後、資産の異動・取得等があった場合には再度提出の上、確認を受けること。
- ※4 償却資産については、毎年行われる申告をもって特例対象資産一覧を提出したこととなること。